令和３年度入学生用　カリキュラムチェックリスト
《総合科学教育部博士後期課程　地域科学専攻》

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは〇を記入する。

ディプロマ・ポリシー 科目名	【1. 学識，研究能力及び高度専門職業能力】 人文・社会・自然科学からなる総合科学の視点と地域科学に関連する高度な専門知識を身につけ，自立して研究を遂行し後進を指導できる又は持続可能な地域社会の構築に指導的な立場から貢献する職業に従事できる卓越した能力を有している。	【2. 2. 倫理観，責任感，創造力，応用力及び洞察力】 コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら，持続可能な社会の構築に貢献できる高い倫理観・責任感を身につけ，知性，理性及び感性が調和し，自立して行動できる。	【3. 国際的発信力及び社会貢献】 世界水準を目指す研究成果の発信により，地域科学の課題探究と地域社会の問題解決，持続可能な地域社会の構築に貢献することができる。	科目の教育目標
地域科学Ⅱ	◎	〇		地域科学の課題の分析能力を高める。
プロジェクト研究Ⅱ	◎	〇	〇	地域科学的方法を理解し，個別文化・個別ディシプリンを，その関係性において捉え，異なる視点から相対化できるようになること.
総合科学課題研究Ⅱ	〇	〇	◎	・総合的な学術研究の基本を身につけている. ・論理的思考力と発表スキルの基本を身につけている. ・現代の地域をめぐる多様な課題について理解している. ・異なる研究領域との交流を通して多面的な研究視点を獲得している.
地域科学特別演習Ⅱ	◎	◎	◎	1. 十分な先行研究の整理をふまえた上で，適切な研究テーマを設定できる. 2. 当該学問分野の基本的な理論・分析枠組について十分理解し，研究に応用できる. 3. 適切な調査研究計画を立案，堅実に実施することができる. 4. インタビュー調査・観察調査・文献調査を適切に実施し，分析に必要なデータを収集することができる. 5. 収集したデータを適切な手法で整理，分析することができる. 6. 調査研究の成果をまとめ，論理的・効果的な形で発表することができる. 7. 研究成果を段階的にまとめつつ，関連する学会・研究会での研究成果報告，研究論文の学会誌への投稿を行う. 8. 適切かつ十分な資料・データを援用した，論理的，実証的で説得力ある研究論文（博士論文）を作成する.